

# 平成24年度 自己評価表

教育方針：教育基本法及び学校教育法の精神に則り、高等学校通信制の課程(普通科・単位制)の特色を生かした教育を進め、豊かな人間性と自律・自立の力を養い、人のため、社会のために貢献する人間を育成する。

- 重点努力目標：① 生きる力の育成(サンキューレターの充実、長期目標設定シートの活用、基本的生活習慣の指導の徹底、充実した学校行事、人権教育および健康・安全教育の推進、家庭との密な連携)  
 ② 確かな学力の育成(分かる授業の徹底と基礎学力の定着、早めのレポート完成、コースに応じた学力の育成、学力に応じ一人ひとりを大切に指導の徹底、授業録画ビデオによる研修)  
 ③ キャリア教育の推進(正しい職業観・勤労観の育成、長期目標設定シートにより将来を設計、進学・就職指導の充実、保護者と連携した進路指導、資格取得検定合格、専門学校との連携)

領域	項目	具体的取組目標	目標達成状況・評価	学校関係者評価・提言(H25. 1. 17)	次年度改善策
学習指導	教科指導の充実	生徒のレベルに応じた分かりやすい授業を行う。	各教員生徒の実態に応じた授業を工夫し、試みているが、全体的には今ひとつ浸透しきれてないところもある。	多様化している生徒への対応は大変なところもあるのですが、特に学習習慣の付いていない生徒への対応はレポート指導なども含めて家庭と協力しながらやっていかないと効果は上がらないと思う	能力的にも、意識の面でも多様化している生徒への対応について、今後も試行錯誤をくり返ししながら努力を続けていく。
		生徒の活動を主体とした作業学習などの授業により学習意欲の向上を図る。	受け身ではなく、能動的に参加する生徒の姿勢が観られたが、まだ作業の範囲に止まっているところもある。	学校生活が楽しと感じる生徒と保護者の割合が高い傾向にあるのは、素晴らしいことである。	今後、作業レベルから学習レベルに発展する生徒の数が増えるように、更に授業の工夫していく必要がある。
		視聴覚機器を利用して指導方法の改善に努める。	教科にもよると思うが、利用している人とそうでない人に大きく分かれる傾向にある。	子供の学校での様子や授業を観る機会があまり無いので、そのような機会を設けて欲しい	利用することにより効果が上がるころは、積極的に利用して指導方法を改善していく必要がある。
		授業力アップのため、授業録画ビデオによる研究に努める。	新任の教員を中心に、録画ビデオを生かしてお互いに反省や研究に努めることが出来た。	新学期が始まってから、教科書が届くのが遅いので、学習への取り組みが遅れて来るので改善をお願いしたい。	授業風景をビデオに撮られる事はプレッシャーになるが授業力アップのための研修を今後も継続して行く必要がある。
レポート指導の充実	自学自習の態度やレポート課題の提出指導に努める。	指導が困難な生徒もいるが、根気強く指導を重ねることにより成果が表れてきている。	パワーポイントを利用した授業もそれなりの効果はあると思うが、教師のペースで授業が進められるところがあり、生徒がノートをとる時間が無く、その場限りで後に残らないところがある。	自学自習の習慣が付いてない生徒について学習の仕方や提出期限を守ることを継続して根気強く指導する必要がある。	
生徒指導	基本的生活習慣の確立	校則や身だしなみについて、校内のあらゆる場面で指導に当たる。	登校指導を中心に指導にあたっており、全体的には良くなってきているが、一部指導に時間がかかる生徒がいる。	保護者・生徒の評価と教職員の自己評価において開きがあるようだ。先生方の自己評価に厳しいところがあるのではないだろうか。	今後も継続して教員一人一人が粘り強く指導にあたること時には厳しい指導を心掛ける必要がある。
		社会で必要なマナーやエチケットについて継続的な指導を行う。	登校時や職員室の出入り時の挨拶や玄関周辺(靴箱)の整頓等が全体的に良くなってきている。	全日制と同じような基準で生活指導全般に取り組むのは無理があり、学校としての明確な基準作りが必要となる。また、学校だけの責任ではなく、家庭教育の影響は大きいので家庭の協力が無いと効果がないと思う。	今後社会生活をする上で基本になる大切なことなので、更に学校生活全体で習慣化出来るように指導していきたい。
	問題行動の未然防止	日頃から、生徒と会話したり相談にのるなど信頼関係づくりに努める。	日頃から生徒の動向に気を配ったり、生徒が話し易い環境作りに取り組んでいる。	学校に楽しく登校することと厳しく指導することに矛盾したところはあるが、生徒が社会に出て受け入れられる人間に成長するためには厳しい指導も必要なのではないかと思う。	内向的な生徒や自分の気持ちを素直に表せない生徒への気遣いを更に高めていく必要がある。
		学校生活全般について、保護者との密な連携の取れた指導を行う。	気になる様子があれば、家庭と密に連絡を取るよう心掛けており、また学校通信などで学校の様子分かるように努めている。	一年前に比べると、街で見かける生徒の服装・身だしなみが大分良くなってきていると思う。	家庭訪問や定期的な面談時は勿論のこと、それ以外の学校行事等の機会も利用して関係を深めていきたい。
進路指導	進路指導の充実	進路指導計画に従って、3年間を見通した指導を行う。	転入生も多く、計画的な進路指導が出来にくいところもあるが、将来を見据えた高校生活を送れるよう取り組んでいる。	3年間は考え方によっては短い。就職の場合は2年生から取り組んでも遅い場合もあるので、出来るだけ早い時期から進路指導を始める方がよいと思う。	一人一人の適正や長所を考慮しながら、各種検定や資格試験に挑戦することにより、進路実現を図りたい、
		生徒に対して、積極的に必要な進路情報を提供する。	機会を捉えて、外部機関からの進路情報を生徒に提供しているが、下級生のなかにはまだ関心の薄い生徒も居る。	多様化する生徒がいるなかで個々に進路指導の効果を上げるのはむづかしいところもあるが、情報提供をするなかで家庭への啓蒙や協力要請が必要である。	自分の生き方や卒業後の進路について関心の薄い生徒への効果的な対応策を考えていく必要がある。
		進路選択に当たって3者面談等で保護者との連携を図る。	生徒の適正や興味と保護者の考え等について理解を深める事が出来た。	進路に対する意識の低い生徒に対して、目標設定シートを使ってまず身近な目標から一つ一つ抑えていく作業を継続していくことから始める。記入していることをもとに生徒との対話がふくらんで来ると思う。	進路実現に向けて、今後の高校生活のなかで生徒1人1人の身近な目標・課題を克服することから取り組んでいく。
		コースに応じて進学・就職対策を効果的に行う。	専門分野の学力の向上や模試・検定・資格試験への意欲的な取り組みへの促進が図られた。		より多くの生徒に、各種模試・検定・資格試験を目標にして、自分の可能性を信じて努力する姿勢を身につけさせる。
特別活動	学校行事の充実	運動会、スキー等の行事を充実させる。	運動に興味がある生徒は意欲的に活動できていたが、苦手な生徒の対策が課題。	ホームページに学校行事や学校生活全般にわたる内容が掲載されているが、記録としての内容が中心になっている。予定を載せて頂けたら学校の様子もよく分かるし、保護者が学校行事等への参加がしやすいと思う。	行事に取り組む姿勢に格差があるが、充実した行事となるように個々の目標を設定して行うようにする。
	「感謝の心」を育む	サンキューレターによって、生徒の人間性の成長を図る。	学校全体が、共通理解のもと、長期目標設定シートの作成を勧めているが、有効活用できてない生徒もいる。		自分自身を見つめ直し、長期目標設定シートの作成時から有効活用出来るカリキュラムを考えさせる。